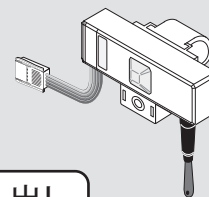


AnyWire DB A20シリーズ ポカよけターミナル

A227XB-02□2-P



交換式レバー入力 取り出し表示灯(緑)(赤) 伝送ライン・フラットケーブル出し

このAnyWire System Products Guideは個別製品について記載しています。
内容をお読みの上ご理解ください。

【安全上のご注意】

安全にお使いいただくため、次のような記号と表示で注意事項を示していますので必ず守ってください。



警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容です。



警告

- システム安全性の考慮
本システムは、一般産業用であり安全確保を目的とする機器や事故防止システムなど、より高い安全性が要求される用途に対して適切な機能を持つものではありません。
- 設置や交換作業の前には必ずシステムの電源を切ってください。



注意

- システム電源
DC24V安定化電源を使ってください。安定電源でない電源の使用はシステムの誤作動の原因となります。
- 高圧線、動力線との分離
AnyWire DB A20シリーズは高いノイズマージンを有していますが、伝送ラインや入出力ケーブルと高圧線や動力線とは離してください。
- コネクタ接続、端子接続
 - ・コネクタ、接続ケーブルに負荷が掛かたり外れたりしないよう、ケーブル長さ、ケーブル固定方法などに配慮してください。
 - ・コネクタ内部、また端子台には金属くずなどが混入しないよう注意してください。
 - ・金属くずによる短絡、誤配線は機器に損傷を与えます。
- 機器に外部からのストレスが加わる様な設置は避けてください。故障の原因となります。
- 伝送ラインが動作している時に、伝送ラインとスレーブユニットの接続を切断したり再接続したりしないでください。誤作動の原因となります。
- AnyWire DB A20**シリーズの電源とSBC(Single Board Controller)やコントローラ等のパラレル信号開閉などに使用しないでください。互いの電源系を共通化する事によりシステム障害の原因となる場合があります。
- AnyWire DB A20**シリーズは下記事項に定められた仕様や条件の範囲内で使用してください。

【特長】

- ・AnyWire DB A20シリーズに対応しています。
- ・交換式レバースイッチ(入力)
取り出し指示の表示(出力)
機能があります。
- ・φ28のパイプにレイアウトできます。
- ・4芯フラットケーブルで伝送と電源供給が可能です。
- ・伝送ライン接続部は、リンクコネクタを装着したフラットケーブルになっていますので、すぐ結線ができます。
- ・伝送距離200m、最大接続台数128台となっています。
(必ず一括電源供給で動作させてください)

【保証について】

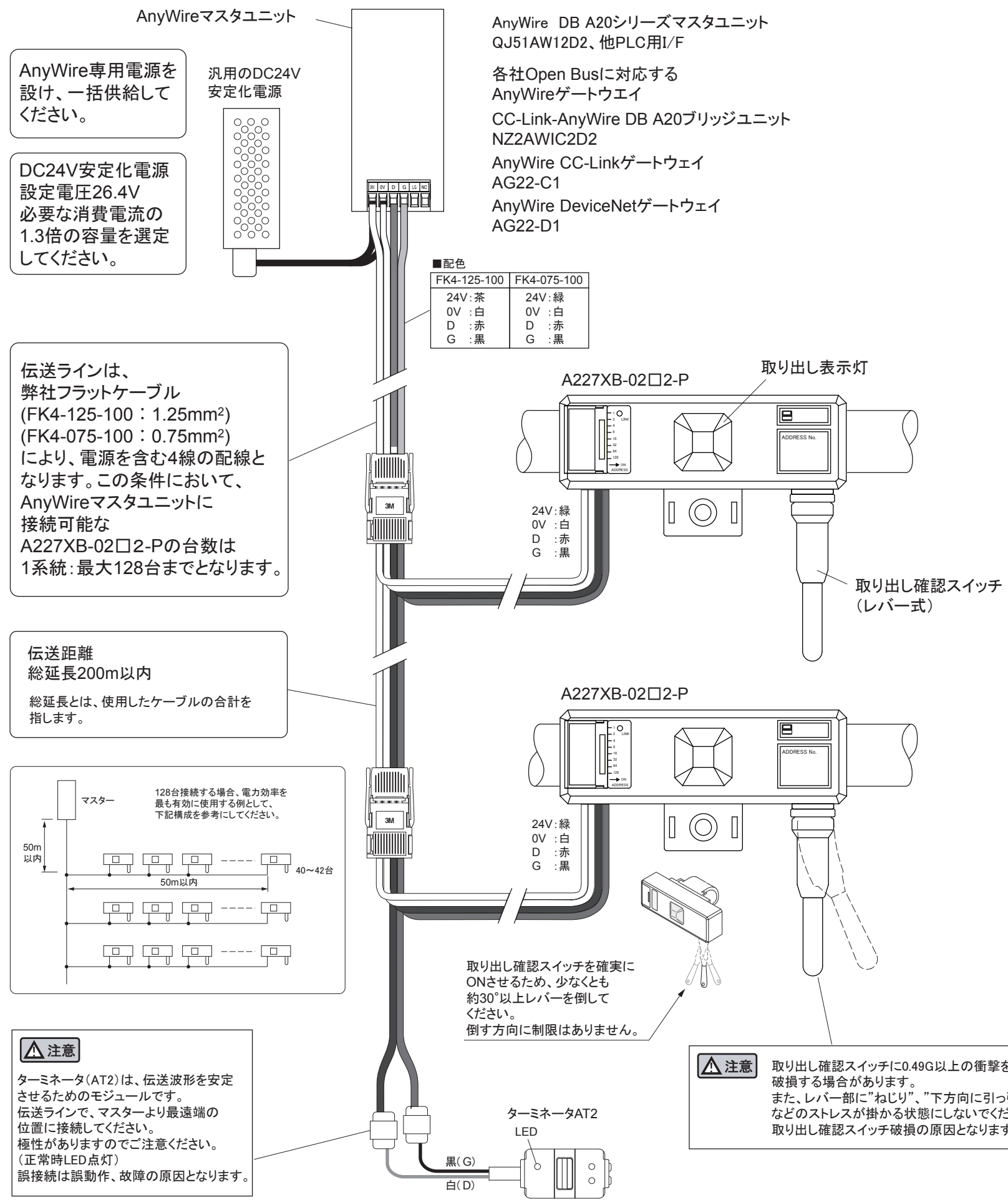
- 保証期間
納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後1箇年とします。
- 保証範囲
上記保証期間中に、本取扱説明書にしたがった製品仕様範囲内の正常な使用状態で故障が生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行ないます。ただし、つぎに該当する場合は、この保証範囲から除外させていただきます。
(1) 需要者側の不適当な取り扱い、ならびに使用による場合。
(2) 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
(3) 納入者以外の改造、または修理による場合。
(4) その他、天災、災害などで、納入者側の責にあらざる場合。
ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。
- 有償修理
保証期間後の調査、修理はすべて有償となります。また保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障修理、故障原因調査は有償にてお受けいたします。

【型 式】

ビット動作

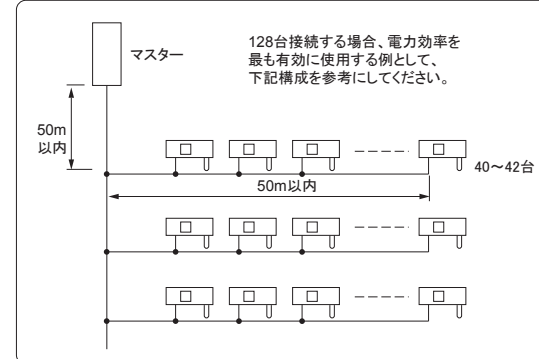
A227XB-02G2-P	1点入力	取り出し確認入力
	1点出力	取り出し表示灯(緑)
A227XB-02R2-P	1点入力	取り出し確認入力
	1点出力	取り出し表示灯(赤)

【接続例】



伝送ラインは、弊社フラットケーブル (FK4-125-100 : 1.25mm²) (FK4-075-100 : 0.75mm²) により、電源を含む4線の配線となります。この条件において、AnyWireマスタユニットに接続可能なA227XB-02□2-Pの台数は1系統:最大128台までとなります。

伝送距離
総延長200m以内
総延長とは、使用したケーブルの合計を指します。



ターミネータ(AT2)は、伝送波形を安定させるためのモジュールです。伝送ラインで、マスターより最遠端の位置に接続してください。極性がありますのでご注意ください。(正常時LED点灯) 誤接続は誤動作、故障の原因となります。

取り出し確認スイッチを確実にONさせるため、少なくとも約30°以上レバーを倒してください。倒す方向に制限はありません。

取り出し確認スイッチに0.49G以上の衝撃を加えると破損する場合があります。また、レバー部に「ねじり」、「下方向に引っ張る」などのストレスが掛かる状態にしないでください。取り出し確認スイッチ破損の原因となります。

注意

- 伝送ライン(A20シリーズライン)
伝送ラインは、D、Gを正しく接続してください。
- 伝送ライン敷設
伝送ラインには高圧線や動力線を近付けないでください。伝送用ケーブルはAnyWireマスタユニットの1系統に1本を割り当て、多系統になる場合は各系統毎にケーブルを割り当ててください。多系統を多芯ケーブルでまとめると誤動作の原因となります。
- AnyWire伝送ライン異常
伝送ライン異常時、出力はリセットされます。
- AnyWireシステムの電源
DC24V電源は、AnyWireシステム専用電源を設けてください。

■ポカよけターミナルの配線

- 伝送ラインへの配線は、ターミナル背面に出ているコネクタ付ケーブルにて行います。
- 逆接続、短絡の無いように結線してください。
- リンクコネクタによるカシメの際は、安定した作業品質の得られる専用工具の使用をお奨めします。(L-TOOI-N:スズデン株式会社)

注意

接続時、ケーブルを引っ張らないでください。また、ケーブルにストレスを掛けた状態で固定しないでください。

注意

リンクコネクタの圧接方向にご確認ください。誤接続は、誤動作や故障の原因となります。

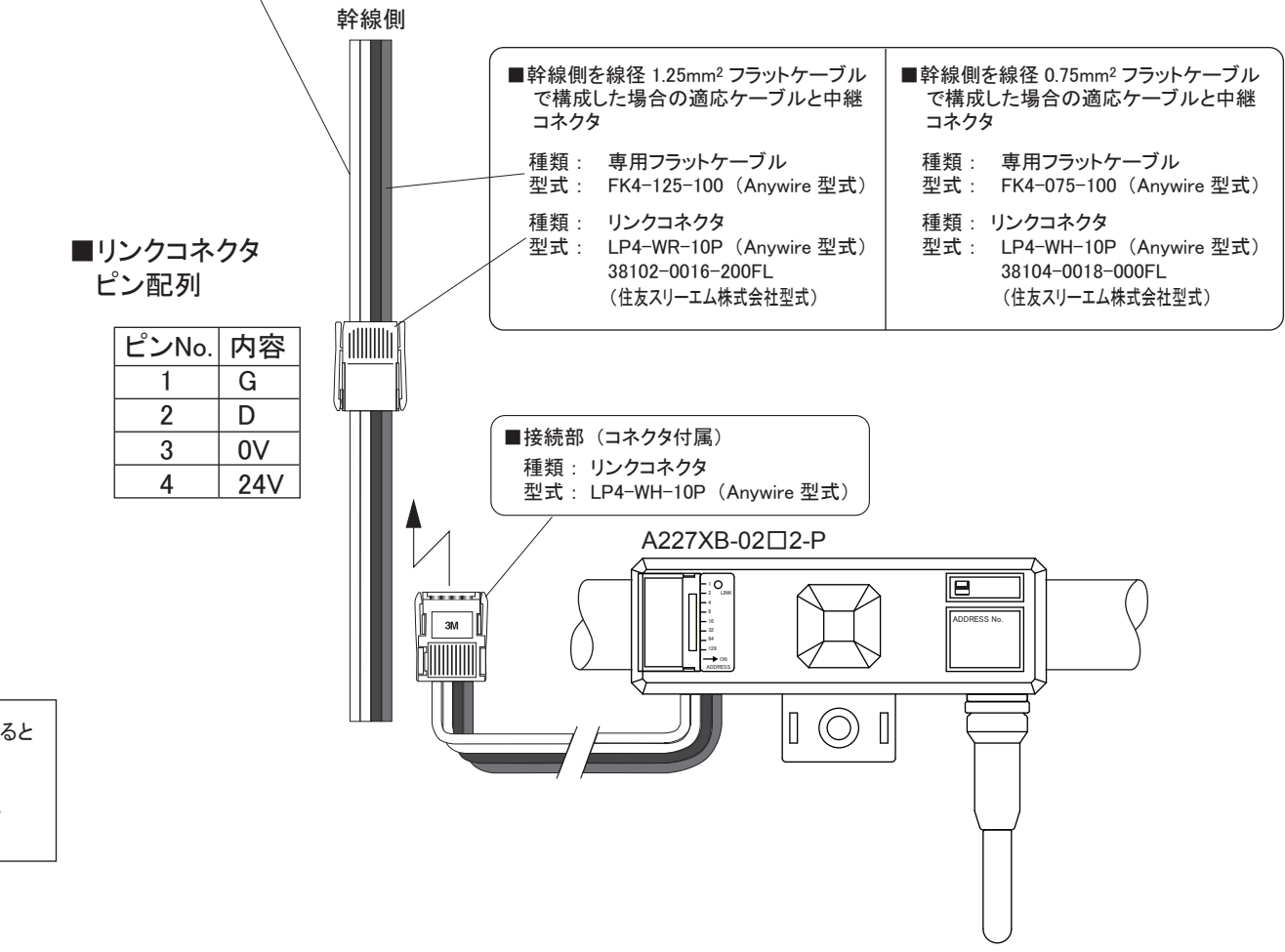
コネクタカバーのヒンジ部側が黒線となります。

末端処理時
中間処理時

コネクタカバー

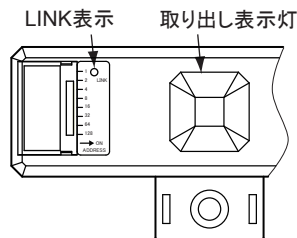
コネクタカバー

リンクコネクタ圧接作業の詳細は、弊社別紙マニュアル「フラットケーブルへのリンクコネクタ圧接方法」をご覧ください。(お問い合わせは弊社営業まで)



【モニタ設定】

- ・このターミナルにはモニタ機能があります。
- ・LINK表示は右表のようにシステム状態の表示を行います。
- ・正常表示以外の場合は、直ちに電源を切り、該当原因を取り除いてから安全を確認の上再投入してください。



表示LED	表示状態	モニタ内容
LINK (赤)	点滅	伝送信号受信
	消灯	電源断
	点灯	伝送異常 (断線、短絡)
取り出し表示灯 (緑)(赤)	点灯	取り出し指示

点灯 消灯

【アドレス設定】

- ・アドレス番号はコントローラの入出力メモリマップとの対応をとるためのものです。
- ・ビット動作ターミナル
ターミナルのアドレス設定スイッチで設定された番号は、それぞれ
「取り出し表示灯(出力)」「取り出し確認スイッチ(入力)」のアドレスとして対応します。
このターミナルでは
ビット単位でのデータ照合、更新を行いません。
- ・1点単位の設定ができます。
- ・ディップスイッチの値は、入出力同じアドレスとして設定されます。
- ・AnyWireマスター側のアドレス自動認識操作による登録では「入カユニット」として登録されます。

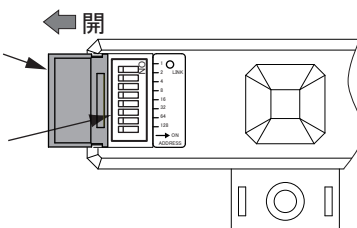
設定例

ビット アドレス	スイッチの設定							
	1	2	4	8	16	32	64	128
0	:	:	:	:	:	:	:	:
6	:	○	○	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:	:	:	:
254	○	○	:	○	○	○	○	○

* 速度設定はありません。
* 自ターミナルの点数を含め最大伝送点数を超えない様に設定してください。

アドレスカバー
←方向にスライドさせて開けます。

アドレス設定スイッチはカバーの下にあります。
右図の姿勢で、レバーを右向きにスライドするとONです。
レバーは確実に操作してください。



【仕様】

項目	仕様
定格電源電圧	DC24V (AnyWireマスター側より供給の電源)
許容電源電圧範囲	DC21.6V~27.6V(DC24V +15%~-10%) リップル0.5Vp-p
使用周囲温度	0~+55°C
使用周囲湿度	35~85%RH 結露なきこと
保存温湿度	-20~+70°C/35~95%RH
雰囲気	腐食性ガスがないこと
耐ノイズ	1200Vp-p (パルス幅1μs)

伝送方式	全2重トータルフレーム・サイクリック方式
同期方式	フレーム/ビット同期方式
伝送手順	専用プロトコル(AnyWireBus)
伝送クロック	マスター側:31.3kHz(200m)設定で使用のこと
伝送サイクルタイム	約5ms(入力128点、出力128点設定の場合) 注)伝送遅れ時間は、1サイクル~2サイクルタイムとなります。
接続形態	バス形式(マルチドロップ、T分岐、ツリー方式) 4芯一括電源供給方式
アドレス設定範囲	0~255
接続台数	最大128台(A227XB-02□2-Pのみ接続の事)
伝送距離	最大200m
出力同時ON点数	(1.25mm ² 、0.75mm ² 弊社フラットケーブル使用)
占有データ数	128点(ただし表示出力テスト時のみに限定) 入力1点、出力1点

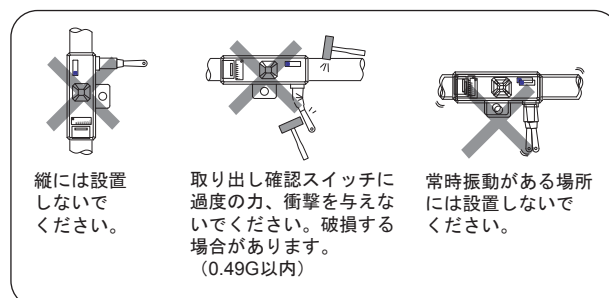
【消費電流、質量】

型 式	消費電流	質 量
A227XB-02□2-P	待機時 : 10mA 表示部ON時 : 20mA	100g

■A227XB-02□2-PへのDC24Vラインは、必ずAnywireマスターに供給する電源から供給してください。

【設置場所】

- ・振動や衝撃が直接本体に伝わらない場所
- ・保護構造ではないので、粉塵に直接晒されない場所
- ・金属屑、スパッタ等導体が直接本体にかからない場所
- ・結露しない場所
- ・腐食性ガス、可燃性ガス、硫黄を含む雰囲気の無い場所
- ・高電圧、大電流のケーブルより離れた場所
- ・サーボ、インバータ等高周波ノイズを発生するケーブルコントローラより離れた場所



縦には設置しないでください。

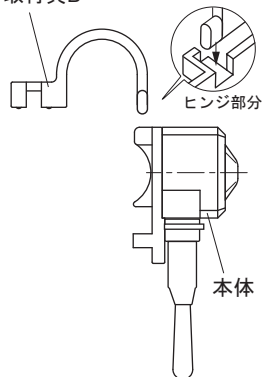
取り出し確認スイッチに過度の力、衝撃を与えないでください。破損する場合があります。(0.49G以内)

常時振動がある場所には設置しないでください。

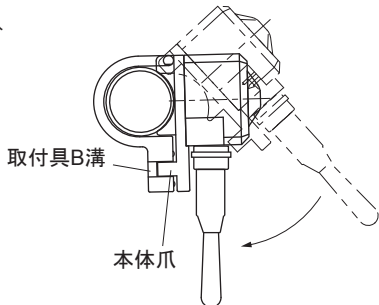
【パイプへの取り付け方法】

本体ヒンジ部に取付具Bのボスを掛けます。

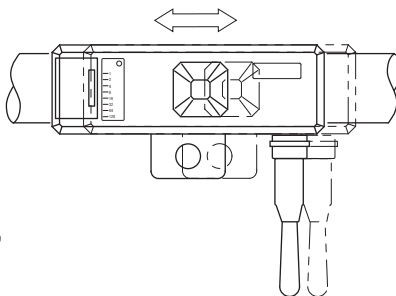
取付具B



取付具Bをパイプに掛け、本体を引き寄せて合体させます。本体爪が取付具Bの溝に挟まると、仮固定状態となります。

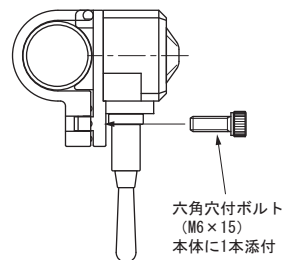


本体をスライドして位置を調整してください。



位置決定後、添付のボルトで本固定してください。

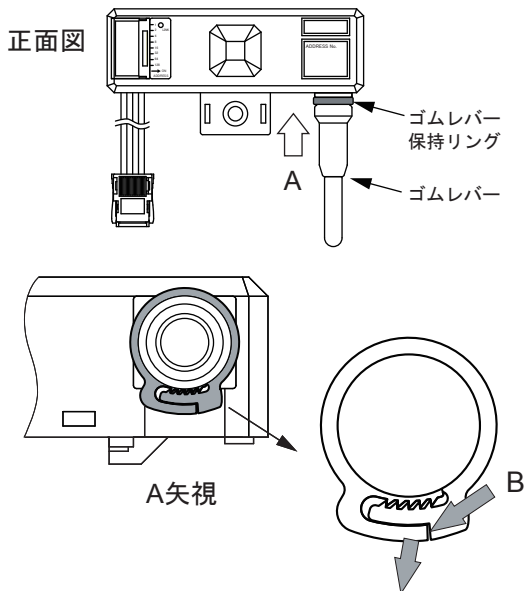
M6ボルト締め付けトルク：1.5~2N・m~



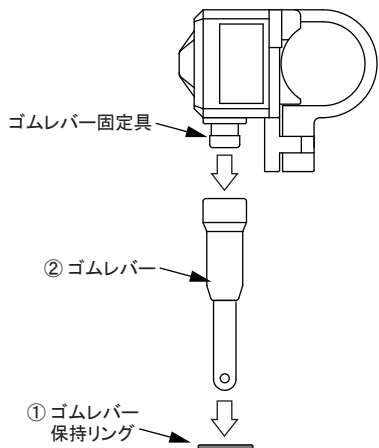
【レバー交換方法】

■ゴムレバーの取り外し

- (1) ゴムレバー保持リングの黒印部分をB方向に押し、ストッパ勘合を解除してリングを緩めます。

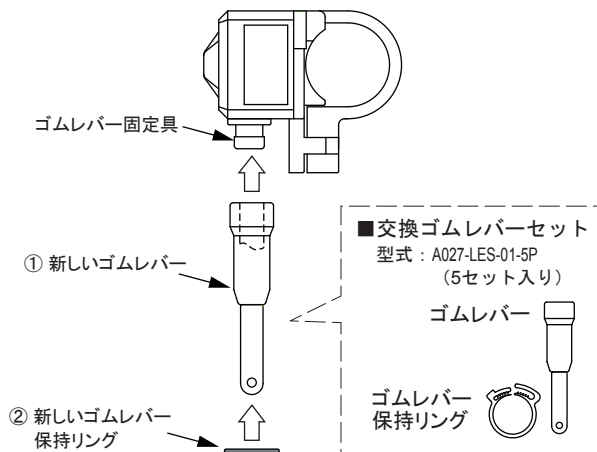


- (2) ①、②の順にゴムレバー固定具からゴムレバーを外します。

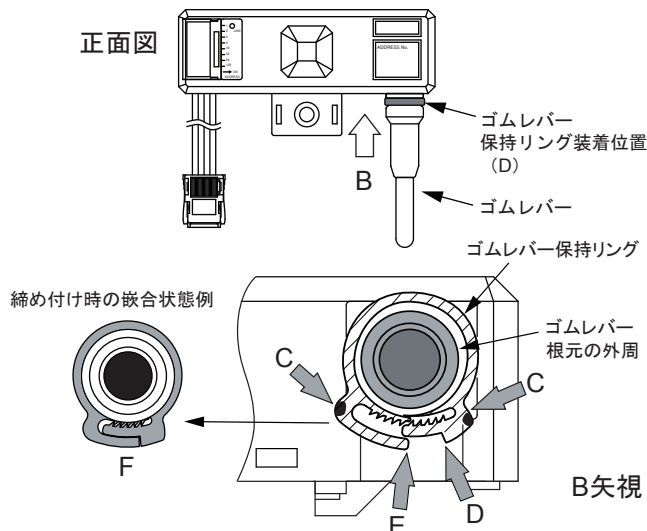


■ゴムレバーの取り付け

- (1) ゴムレバー固定具へ新しいゴムレバーを根元までしっかり押し込み、ゴムレバー保持リングをレバーに通します。保持リングは新しい物を使用してください。

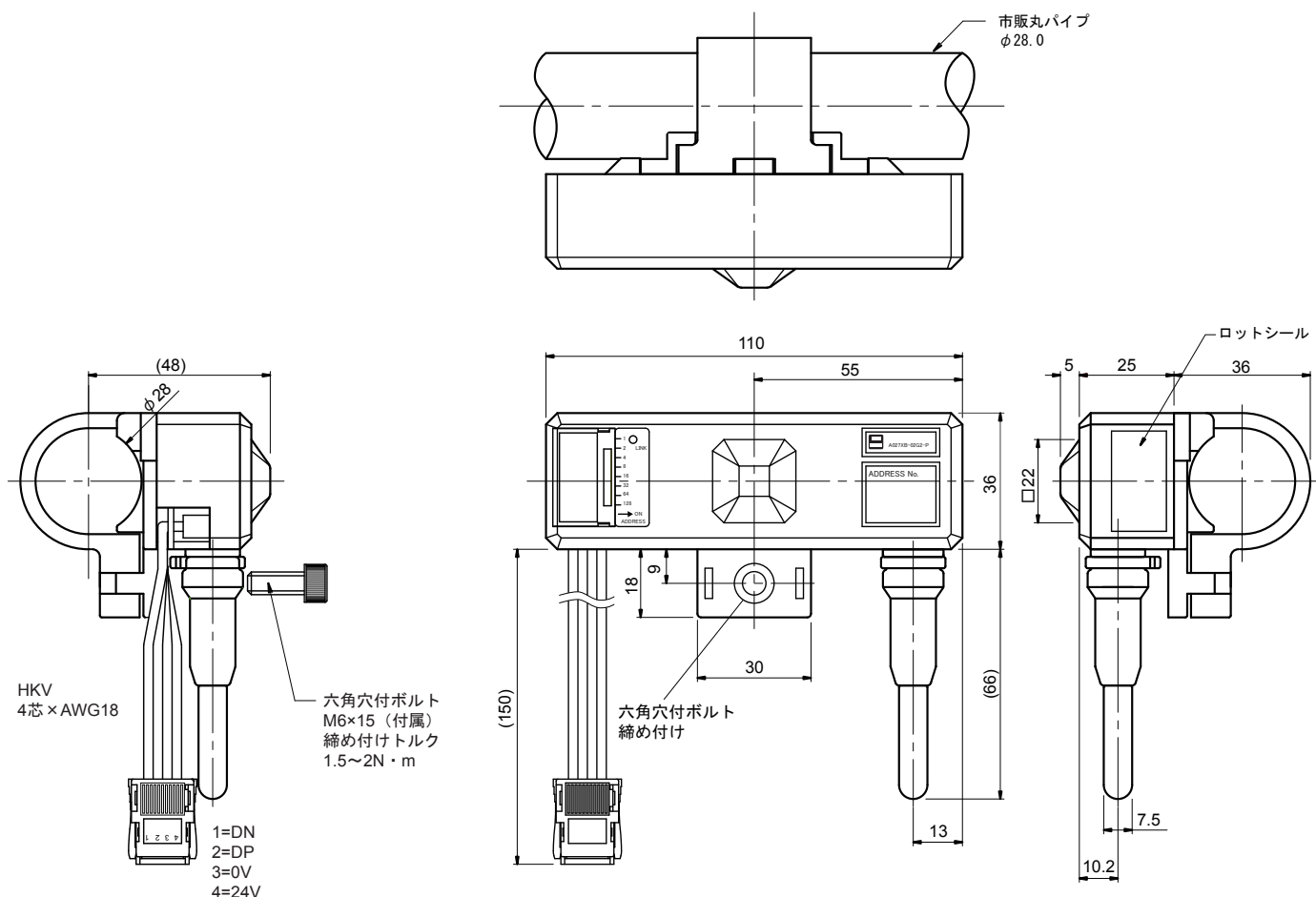


- (2) ゴムレバー保持リングを正面図の(D)位置(ゴムレバー根元)に装着します。装着は、プライヤー等で黒印部分をC方向に押しストッパの爪をDとEが当たるまで嵌合させ(F参照)、ゴムレバー根元の外周を絞めます。締め込み後、レバーを引っ張り固定されている事を確認してください。



【外形寸法】

単位: mm



リンクコネクタ
住友スリーエム株式会社
38104-P018-P00FL

【連絡先】

Anywire 株式会社エニワイヤ

本	社: 〒617-8550	京都府長岡京市馬場図所1	TEL:075-956-1611(代) / FAX:075-956-1613
西日本営業	所: 〒617-8550	京都府長岡京市馬場図所1	TEL:075-956-4911 / FAX:075-956-1613
東日本営業	所: 〒101-0035	東京都千代田区神田紺屋町47(新広栄ビル6F)	TEL:03-5209-5711 / FAX:03-5209-5713
中部営業	所: 〒461-0048	愛知県名古屋市東区矢田南5-1-14	TEL:052-723-4611 / FAX:052-723-4683
九州営業	所: 〒810-0001	福岡県福岡市中央区天神1-15-2(第6明星ビル7F)	TEL:092-724-3711 / FAX:092-724-3713

テクニカル サポートダイヤル : TEL 075-952-8077

Printed in Japan 2009,2013,2016 UMA-07019C